



|              |   |
|--------------|---|
| Title        | Gallia 57号 報告   |
| Author(s)    |   |
| Citation     | Gallia. 2018, 57, p. 138-140  |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/69860">https://hdl.handle.net/11094/69860</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 報 告

## 講義題目 (2017 年度)

- 和田 章男 教授 (講) フランスの作家たちと音楽 (共通)  
 (講) 名作でたどるフランス文学の歴史 (山上教授と共同、学部)  
 (演) ジャン・コクトー『恐るべき子供たち』を読む (学部・修士)  
 (演) プルースト『ソドムとゴモラ』研究 (大学院)
- 山上 浩嗣 教授 (演) ラシーヌ『アンドロマック』を読む (学部・修士)  
 (講) パスカル『パンセ』を読む (1 学期) (共通)  
 (演) モンテーニュ『エッセー』を読む (大学院)
- Éric Avocat 特任准教授 (演) Exercices pratiques de langue française (学部)  
 (演) La chanson française : poésie, histoire, société (1 学期) (学部・修士)  
 (演) L'écriture des journalistes : étude et pratique (2 学期) (学部・修士)  
 (講) Initiation à l'écriture académique (大学院)  
 (演) Introduction au romantisme français : poésie, théâtre, littérature, sensibilité (大学院)
- 岩根 久 教授 (講) フランス・ルネサンスにおける古典の受容と詩の実践  
 —プレイアード派を中心に— (2 学期) (共通)
- 森本 淳生 講師 (講) レチフ・ド・ラ・ブルトンヌと〈近代文学〉の生成  
 —文学場・周縁性・両義性 (1 学期) (共通)

## 卒業論文 (2016 年度)

フランス語における歯擦音の古フランス語期からの通時的研究

田 中 聖 人

ラディゲ『ドルジェル伯の舞踏会』における「田舎」の機能

堤 崎 暁

『バジャゼ』における視線と令状—アミュラ帝の不在をめぐる—

角 田 郁 晃

ロマンティック・バレエ『ジゼル、又はウィリ達』における男性登場人物と男性観客  
 の関係について

道 廣 千 世

# 修士論文（2016 年度）

La condition de la femme chez Mme de Staël, entre Rousseau et Mary Wollstonecraft

植 村 実 江

Métaphores et Métamorphoses de l'orgue chez Proust

森 康 晃

## 日本フランス語フランス文学会研究発表

2017 年 6 月 3 日（土）・6 月 4 日（日）（全国春季大会、於東京大学）

- ・いま、パスカル・キニャールを読むこと—コレクション刊行をきっかけに（ワークショップ）

小 川 美登里

2017 年 10 月 28 日（土）・10 月 29 日（日）（全国秋季大会、於名古屋大学）

- ・ゾラ『クロードの告白』における「郊外」から「自然」への道  
—ゴンクール兄弟『ジェルミニ・ラセルトゥー』書評を通して

安 達 孝 信

- ・マルロー『王道』における共同体

井 上 俊 博

## 大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第 81 回研究会 2017 年 10 月 7 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

- ・スタール夫人における天才像

植 村 実 江

- ・カミュ後期の著作における植物の表象と「再生」のテーマ

安 藤 麻 貴

司会：高 岡 尚 子

- ・Entre libération du texte et uniformisation littéraire : le paradoxe de la littérature mondialisée chez Murakami Haruki

Benjamin Salagnon

司会：Christophe Garrabet

第 82 回研究会 2018 年 3 月 3 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

・レミ・ベローにおける牧歌の詩学—*La Bergerie*（1565）を中心に

林 千 宏

・ドービニエとジャンル

濱 田 明

司会：岩 根 久

・フランス語使役文における被使役者名詞句の表現形式について

木 内 良 行

司会：井 元 秀 剛